報告第１３号

令和６年度一般財団法人大阪はびきの観光局の事業状況及び決算の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の３第２項の規定により、令和６年度一般財団法人大阪はびきの観光局の事業状況及び決算を、別紙のとおり報告する。

令和７年６月５日　提出

羽曳野市長　山入端　創

令和６年度

事 業 状 況 及 び 決 算 報 告 書

一般財団法人　大阪はびきの観光局

一般財団法人 大阪はびきの観光局

2024（令和6）年度事業報告書

2025年４月

一般財団法人 大阪はびきの観光局
2024（令和6）年度事業報告書

2025 年 4 月

大阪はびきの観光局

羽曳野市の歴史・文化・産業その他の特性を活かし、観光関連産業の振興を総合的に推進するため、大阪はびきの観光局 2024（令和 6）年度事業計画に基づき下記の事業を実施した。

1．観光推進企画事業

（1）公益財団法人大阪観光局と連携し、大阪・関西万博に向けた周遊促進協働デジタルマーケティング事業により羽曳野市のプロモーション事業に向けたターゲット分析を実施。

〇体験コンテンツを造成し、OTA（インターネットのみで取引を行う旅行会社）で販売を開始した。「関西屈指の肉の町『羽曳野』で焼肉はしごツアー」

〇地域の魅力（愛好家視点で作成した記事）を大阪観光局 HP で情報発信した。「ワインマニアが羽曳野ワイナリーを巡る！「肉のまち」が生む料理も味わいテロワールを満喫」

〇大阪観光素材意見交換会に出席　12 月 6 日

〇旅行者の周遊や消費傾向を把握するため大阪観光局が主催するセミナーに参加した。12 月 11 日、17 日

（2）南河内の市町村で運営している「華やいで大阪・南河内観光キャンペーン協議会」が主催するイベントなどに積極的に参加し、広域的な観光関連事業を推進した。

〇華やいで大阪・南河内観光キャンペーン協議会総会　5 月 21 日

〇華やいで大阪広域観光研修会　2 月 27 日

（3）産・官・学の連携により観光振興を図るための取り組みを推進した。

〇四天王寺大学、旅行会社と連携し、学生ガイド育成セミナーを実施した。8 月 6 日

〇阪南大学、大阪商工会議所主催の「南河内地域の活性化に向けたシンポ

ジウム（グレーターミナミ構想）」に参加　阪南大学あべのハルカスキャンパス 11 月 29 日

〇大手前大学、全国農協観光協会と事業連携に向けて協議　3 月 14 日

（4）『大阪・関西万博2025』に向け、観光振興とシティーセールスにつなげるため、万博を契機にした各種取り組みに参加した。

〇大阪・関西万博 300 日前記念イベント「万博300日前！あべてんフェス」
6 月 15 日～17 日　羽曳野市の PR と特産品の販売

〇大阪・関西万博開幕 200 日前イベント　八尾アリオ　9 月 29 日
羽曳野市の PR と特産品の販売

〇大阪デスティネーションキャンペーン（DC）関連
4 月 26 日　大阪DC説明会（大阪府庁咲州庁舎）
7 月 9 日　全国宣伝販売促進会議　グランキューブ大阪
体験・観光 PR コーナーで羽曳野市と特産品の PR
7 月 10 日　大阪 DC エクスカーション（誉田八幡宮）
8 月 30 日　大阪 DC はびきの視察（誉田八幡宮、河内ワイン、ブドウ畑）
2 月 21 日　「来てな！OSAKA」大阪府、大阪市、堺市、JR グループのリリース内に11コンテンツ掲載
大阪 DC ガイドブック（JR 各駅置きの無料冊子）6コンテンツ掲載。 モデル1コース、土産品1つ掲載
大阪 DC 専用 WEB「来てな！オモロイがいっぱい大阪旅」19 コンテンツ掲載
2 月 26 日　大阪 DC 市町村合同説明会
3 月 30 日　大阪DCオープニングイベント　JR大阪駅　暁の広場
羽曳野市の PR と特産品の販売

〇万博＋観光ポータル 9 コンテンツ商品登録　2 月 20 日
万博＋観光ポータル 9 コンテンツ販売開始　3 月 1 日

〇大阪・関西万博デザインマンホールふたの展示
4 月 26 日～5 月 31 日　はびきのビジターセンター

（5）スポーツ・観光大使であるダルビッシュ有投手及びダルビッシュミュージアムと連携し、羽曳野の特産品を PR した。

〇ワイン試飲会・即売会 in ダルビッシュコート 5 月 3 日～4 日

〇クリスマス試飲会・即売会 in ダルビッシュコート 12 月 21 日

（6）旧浅野家住宅の活用
河内町家 BBQ フェス（市主催）　10 月 6 日　旧浅野家住宅広場

２．観光情報発信事業

（1） 民間事業者との連携で新たな企画や羽曳野の魅力を発信した。

〇長﨑堂（黒船）シャインマスカット生どら焼き販売　8 月 20 日

〇DeepExperience 株式会社　ワイン関連コンテンツの造成に協力　9 月 5 日

〇NMB48 塩月希依音さんが YouTube「ケイト旅」で藤井寺市内を撮影した。
9 月 7 日

〇千鳥屋宗家いちじくマドレーヌ販売　10 月 4 日

〇近畿日本鉄道「～百舌鳥・古市古墳群世界遺産登録 5 周年記念～青の交響曲（シンフォニー）に乗って古市古墳群と沿線グルメを愉しむ旅」 11 月 20 日

〇UHA 味覚糖「忍者めしシャインマスカット味」販売　12 月 11 日、2 月 26 日

〇日本旅行 EX サービス　2ワイナリーコンテンツの造成に協力　2 月 13 日

〇コトコトまるしぇ（はびきの農家の煮込み会）

古市駅東側広場　4 月 24 日、5 月 8 日、 7 月 10 日、8 月 21 日、
11 月 16 日、12 月 8 日、1 月 19 日、2 月 8 日

恵我ノ荘駅前　6 月 19 日、8 月 25 日

イチジクまるしぇ　9 月 7 日（古市駅東側広場）

LIC はびきのまるごとカルチャーフェスティバル 3 月 16 日

〇各種イベントでの PR

でらのクラフトビアガーデン（イオン藤井寺屋上）7 月 12 日～15 日

2024 夏祭り（羽曳野市市民会館） 7 月 21 日

大阪ぶどうエキスポ 2024@ららぽーと堺　8 月 3 日

タータンレセプションパーティー（古市駅東広場） 9 月 21 日

ご当地キャラ EXPO （あさひ賃貸りんくうステージ） 11 月 9 日、10 日

ハレマチビヨリ vol.7（津堂城山古墳）11 月 23 日

古墳フェスはにこっと（高槻市今城塚古墳公園）11 月 24 日

関西国際空港観光 PR（関空観光 PR ブース）12 月 3 日

あなたはまだ知らない大阪の美食 - New taste of 羽曳野-
（セブンパーク天美）1 月 16 日

（2） 大阪はびきの観光局の HP、X（旧ツイッター）、インスタグラムでイベントや公式ツアー、お知らせなどを新着情報として発信した。

（3）ふるさと納税の PR をとおして、羽曳野市の特産品の振興を図った。

〇さいぼし作りの撮影・PR（安井商店） 4 月 11 日

〇ふるさと納税 PR 撮影協力　11 月 26 日

（4）各種メディア等を通して羽曳野の魅力を発信した。

〇2024 年上期「JR で来てな！大阪」1コンテンツ掲載　4 月
〇BS よしもとロケーション撮影対応（お笑い芸人スパン）　4 月 12 日
〇近鉄おでかけチャンネル cocoyan!地元の人とつくる観光お出かけマップ！
古市編ロケ対応 5 月 8 日
〇NHK ロケ対応　よみがえれ 1600 年前のハニワ接合体験　5 月 21 日
〇ジパング倶楽部　1コンテンツ掲載　5 月
〇西 Navi5 月号　1コンテンツ掲載　5 月
〇ダルビッシュ有投手　日米通算 200 勝パブリックビューイング
NHK、読売テレビ、毎日新聞社取材　　号外発行　5 月 20 日
〇大阪 DC 全国促進販売会議観光素材集5コンテンツ掲載　6 月
〇EXPO 関西旅行商品素材集 3 コンテンツ掲載　6 月
〇関西テレビ現地視察対応　6 月 13 日
〇24 時間テレビ　取材対応（ダルビッシュ有投手関連）　8 月 13 日
〇J:COM「かもん！おおさかもん」 9 月 17 日ロケ対応　10 月 1 日放送開始
〇まち歩き取材対応　10 月 3 日
〇NHK 関西　NEWS WEB　10 月 19 日放送
〇日本経済新聞社（夕刊　街エクスプローラー）取材　11 月 28 日
〇J:COM ふわっと欣様ロケ対応 12 月 11 日
〇読売新聞社取材（忍者めし羽曳野産シャインマスカット果汁）12 月 26 日
〇読売新聞社取材（映画ヤマトタケル～白鳥伝説～）　2 月 23 日
〇旅の手帖4月号特別付録大阪デスティネーションキャンペーンガイドブック
純広告「和牛と和製ワインのマリアージュ」及び　9 コンテンツを掲載
（交通新聞社）　3 月 10 日
〇KANSAI MaaS　アプリ　スポット・イベント情報掲載　3 月 10 日

（5）大阪市内や大阪府外へのイベント等に参加し羽曳野市の PR を行った。

〇大阪 DC 全国宣伝販売促進会議　グランキューブ大阪　7 月 9 日
体験・観光 PR コーナーで羽曳野市と特産品の PR
〇KASAGI 鍋フェス　京都府相楽郡笠置いこいの館前特設会場　2 月 1 日
〇南河内いちごフェスタ@てんしば　3 月 8 日
〇大阪DCオープニングイベント　JR大阪駅　暁の広場　3 月 30 日

（6）ダルビッシュ郁代さんと大谷理事長が観光について対談した内容を賛助会員会報新年度特別号に掲載し紹介した。4 月 1 日

（7）インバウンドに向けた誘客のため、訪日外国人旅行者向けオンライン旅行予約プラットフォームを運営する WAmazing 株式会社と連携し、観光コンテンツを造

成。OTA に掲載し販売を開始した。（販売開始日 2025 年 1 月 30 日）
（観光庁地域観光新発見事業補助金活用）
〇地元民が愛するディープな焼肉店と地元ワインを楽しむ焼肉はしごツアー
〇“羽曳野スタイル”の WAGYU スペシャルランチ×地元ワインペアリング
（大阪市内ホテル送迎付き）

3．まちづくり活性化事業

（1）羽曳野市の特産品等を活用し羽曳野の魅力を PR した。
①大阪ワインフェス 2024 in 柏原 4 月 21 日
大阪ワイナリー協会主催 来場者 2,500 人
②羽曳野産ワインの PR を実施。
〇ワインとお肉のペアリングイベントの開催
ワンランク上の BBQ パーティー（河内ワイン） 5 月 26 日
ワイン新酒試飲会・プレミアム BBQ（河内ワイン） 10 月 26 日
ペアリングランチ（河内ワイン金食堂） 11 月 30 日
〇大阪はびきの観光局公式ツアーでの誉田八幡宮の日の丸神酒に羽曳野産ワインを使用。
③2024 はびきの肉まつり feat.日本の食まつりの開催
南大阪食肉卸商業協同組合と共催
10 月 19～20 日（府営石川河川公園、市立駒ヶ谷駅西側公園）
お肉、油かす、ワイン、地ビールの PR
来場者 1 万人（2 日間）
④羽曳野産シャインマスカットを民間事業者と連携し普及・PR を行った。
〇ザ パーク フロント ホテル アット ユニバーサル・スタジオ・ジャパン
羽曳野産・太子町産シャインマスカットブッフェ開催 8 月 9 日～9 月 4 日
〇長﨑堂（黒船）シャインマスカット生どら焼き販売 8 月 20 日
〇UHA 味覚糖忍者めしシャインマスカット味販売 12 月 11 日、2 月 26 日
⑤村川学園（大阪調理製菓専門学校）との連携により、羽曳野のシャインマスカットを使ったお土産やホルモンを使ったメニューを開発した。
〇シャインマスカット・プチマフィンの商品化
6 月 9 日現地視察研修 7 月 26 日レシピコンテスト
12 月 1 日発売 3 月 20 日第 2 弾販売開始
株式会社フラワーが製造・販売
株式会社近鉄リテーリングが販売協力
〇リゾットボールフライ～アカセン包み～
7 月 25 日現地視察研修 9 月 25 日ホルモンレシピコンテスト
10 月 19 日 20 日 はびきの肉まつりで販売

〇関連セミナー　泉州美食 EXPO「Z 世代と食」に参加　4 月 18 日

（2）世界文化遺産や歴史資産を活用した事業

① 世界文化遺産（百舌鳥・古市古墳群）5 周年記念の PR 活動

古墳にコーフン♡ツアー2024（イオン藤井寺） 5 月 26 日

古墳 DE るるる～知る・見る・食べる～（羽曳野市役所） 11 月 10 日

「～百舌鳥・古市古墳群世界遺産登録 5 周年記念～青の交響曲（シンフォニー）に乗って古市古墳群と沿線グルメを愉しむ旅」

（近畿日本鉄道主催） 11 月 20 日

青の交響曲車内放送用ラジオ収録ボランティア団体「風鈴」9 月 11 日

② 日本遺産（竹内街道）の PR 活動

竹内街道 PR 自動販売機の設置（古市駅東広場） 5 月 29 日

日本遺産御周印帳への押印開始（ビジターセンター） 9 月 26 日

電車 de 竹内街道・横大路（大道）マルシェ in 大阪阿部野橋駅

2 月 8～9 日

（3）地域資源を活用したまちづくり事業

①大阪はびきの観光局 HP より公式コンテンツを継続して販売

②大阪観光局と連携協力し観光ツアーを造成し、OTA で販売を開始した。

「関西屈指の肉の町『羽曳野』で焼肉はしごツアー」

日帰りバスツアーの企画造成支援を行った。

〇市内を周遊するバスツアーへの補助金を交付

バス 12 台、391 人

〇教育旅行プログラムバスツアーへの補助金交付

中学校 1 校（バス 8 台 288 人）、高等学校 1 校（バス 3 台 108 人）

③オンライン予約販売決済システムを活用し、コンテンツの販売を実施。

〇大阪はびきの観光局公式コンテンツ

〇コトコトマルシェ早割チケット

〇ワンランク上の BBQ パーティー（河内ワイン） 5 月 26 日

〇プレミアム BBQ・新酒試飲会（河内ワイン） 10 月 26 日

〇ペアリングランチ（河内ワイン金食堂） 11 月 30 日

〇映画ヤマトタケル美術・大道具制作見学会　2 月 8 日

〇映画ヤマトタケル撮影見学会　2 月 23 日

（4）フィルムコミッション事業の推進

映画「ヤマトタケル」の制作支援を通じて、地域の魅力発信を行った。

〇映画ヤマトタケル美術・大道具制作見学会　2 月 8 日

〇映画ヤマトタケル撮影見学会　2 月 23 日

（5）産官学の連携による特産品を活用した商品のPR支援

富田林高校生 5 人組で起業した模擬企業「グレープチャーム」と河内ワイン、菓子工房 yamao のコラボ商品「B-on ぶどうゼリー」の販売・PR を支援した。

〇河内町家 BBQ フェス（10 月 6 日）での出店支援

〇はびきの肉まつり（10 月 19 日）での出店支援

4. 観光施設等管理運営事業

（1）「はびきのビジターセンター」で来訪者へ特産品等の販売、観光情報の提供（冊子やチラシの配布）を行った。また、インスタグラムでの情報発信も行った。

〇大阪・関西万博デザインマンホールふたの展示　4 月 26 日～5 月 31 日

〇南河内イチジクデジタルスタンプラリーのスポット参画　8 月 3 日～9 月 30 日

〇日本遺産御朱印帳への押印開始（ビジターセンター）　9 月 26 日

（2）羽曳野まち歩きガイドの会による来訪者の受入れ

古市古墳群をはじめ市内歴史資産等のガイド　90 回

（3）セミナールーム（3 階）を活用し事業を実施した。

〇いちじくベーグル商品開発　6 月 28 日

〇四天王寺大学と連携し観光ボランティア育成講座を実施　8 月 6 日

〇あん庵「ねりきり体験」（青の交響曲オプショナルツアー）11 月 20 日

〇誉田中学校「特色ある学校づくり推進事業」報告会　3 月 11 日

（4）（5）駒ヶ谷駅西側公園内ハウスや古市駅東広場の旧観光案内所の有効活用について、現状の課題を羽曳野市と情報共有した（継続案件）。

5. 事業計画の推進及びアクションプランの策定

（1）「大阪はびきの観光プロジェクト」 Towards2025 に沿って観光振興を図った。

（2）大阪はびきの観光プロジェクトを推進するための具体的かつ中期的な事業プランであるアクションプランの策定について検討を図った。

６．賛助会員の募集、地域人材の発掘育成

（1）観光局の目的に賛同し、事業活動に協力していただける団体・個人の賛助会員を募集し、会員申込をしていただいた。

2024 年度当初　73 会員　会費 118 万円
2024 年度末　82 会員　会費 126 万円
2025 年度分　89 会員　会費 133 万円（2024 年度中に申込）

（2）賛助会員に毎月メールマガジン（会報）を送り、実施事業の内容やイベント予告、新規会員の紹介など大阪はびきの観光局の取組み状況を周知した。
〇会報新年号　ダルビッシュ郁代さんと大谷理事長との対談の掲載
朝井まかてさんと大谷理事長との対談の掲載

（3）地域で頑張り、2023 年度から自主事業のイベントを開催しているコトコトマルシェにおいて、オンライン予約販売システムを活用して付加価値を付けた商品券を販売することにより、固定客を獲得し安定した事業を展開するための「賑わい創出・地域経済基礎構築促進モデル事業」を実施した。

７．広域連携の充実

〇世界遺産で連携している藤井寺市や堺市、ワインやぶどうで繋がりのある柏原市などと連携するとともに、「華やいで大阪・南河内観光キャンペーン協議会」や「竹内街道・横大路活性化実行委員会」、また、グレーターミナミ構想をテーマにしたシンポジウムの参加など、より広域的な活動にも積極的に参画した。

〇「るるぶ 特別編集　大阪南河内」の作成。
大阪・関西万博を契機に国内や海外からの来阪者に、南河内地域への誘客を図るため、広域での PR 誌、「るるぶ 特別編集　大阪南河内」を作成した。
今後、南河内 9 市町村で本誌を活用し PR を推進していく。

８．その他

（1）特産品の販路拡大
〇ザ　パーク　フロント　ホテル　アット　ユニバーサル・スタジオ・ジャパン
牛肉（羽曳野市）

シャインマスカット（羽曳野市・太子町）
「シャインマスカットブッフェ」の開催 8 月 9 日～9 月 4 日
さしみ卵（富田林市）
イチゴ（千早赤阪村、河南町）
「いちご食べ比べブッフェ」の開催 1 月 24 日～4 月 12 日

〇木津市場土曜朝市での販売
シャインマスカット（太子町）、ワイン、梅酒の販売 9 月 28 日
イチゴ（千早赤阪村、河南町）、ワイン、梅酒の販売 1 月 25 日

〇シャインマスカット販売 羽曳野市役所 8 月 26 日 10 月 1 日

2024(令和 6)年度

決　算　報　告　書

第　3　期

自　　2024 年 4 月 1 日

至　　2025 年 3 月 31 日

一般財団法人　大阪はびきの観光局

大阪府羽曳野市古市一丁目 1 番 21 号

貸借対照表

2025年03月31日 現在

（単位：円）

科　　目	当 年 度	前 年 度	増　　減
Ⅰ　資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	16,820,166	17,190,469	△370,303
未収金	948,020	273,821	674,199
立替金	0	4,000	△4,000
商品	480,368	280,093	200,275
貯蔵品	57,465	69,563	△12,098
流動資産合計	18,306,019	17,817,946	488,073
2. 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	5,000,000	5,000,000	0
(2)その他固定資産			
構築物	288,603	390,463	△101,860
車両	675,192	1,027,464	△352,272
什器備品	298,875	342,085	△43,210
建物附属設備	6,217,293	6,616,478	△399,185
ソフトウェア	1,210,797	2,555,481	△1,344,684
その他固定資産合計	8,690,760	10,931,971	△2,241,211
固定資産合計	13,690,760	15,931,971	△2,241,211
資産合計	31,996,779	33,749,917	△1,753,138
Ⅱ　負債の部			
1. 流動負債			
未払金	9,822,355	11,797,368	△1,975,013
前受金	701,667	460,830	240,837
預り金	172,134	157,814	14,320
流動負債合計	10,696,156	12,416,012	△1,719,856
負債合計	10,696,156	12,416,012	△1,719,856
Ⅲ　正味財産の部			
1. 指定正味財産	5,000,000	5,000,000	0
基本財産	5,000,000	5,000,000	0
（うち基本財産への充当額）	(5,000,000)	(5,000,000)	0
2. 一般正味財産	16,300,623	16,333,905	△33,282
正味財産合計	21,300,623	21,333,905	△33,282
負債及び正味財産合計	31,996,779	33,749,917	△1,753,138

正味財産増減計算書

2024年04月01日 から 2025年03月31日 まで

(単位：円)

科　　目	当 年 度	前 年 度	増　　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
基本財産運用益	85	85	0
基本財産受取利息	85	85	0
事業収益	10,975,563	4,316,333	6,659,230
物産品等販売事業収益	7,740,094	4,002,935	3,737,159
広告収入事業収益	73,663	43,270	30,393
受託業務事業収益	12,100	0	12,100
受取手数料収益	1,446,466	263,128	1,183,338
その他収入事業収益	1,703,240	7,000	1,696,240
受取補助金	60,641,871	50,861,221	9,780,650
受取観光庁補助金	5,000,000	0	5,000,000
受取地域観光新発見事業補助金	5,000,000	0	5,000,000
受取羽曳野市補助金	55,641,871	50,861,221	4,780,650
受取観光関連企画運営事業補助金	2,509,500	1,942,091	567,409
受取観光情報発信事業補助金	2,240,000	3,682,266	△1,442,266
受取まちづくり活性化関連事業補助金	3,721,056	3,759,808	△38,752
受取観光施設等管理事業補助金	25,252,452	30,116,138	△4,863,686
受取財団法人運営補助事業補助金	21,918,863	11,360,918	10,557,945
受取寄付金	0	303,029	△303,029
受取負担金	300,000	300,000	0
受取会費	1,260,000	730,000	530,000
雑収益	28,684	130,652	△101,968
受取利息	11,832	274	11,558
雑収益	16,852	130,378	△113,526
経常収益計	73,206,203	56,641,320	16,564,883
(2)経常費用			
事業費	50,389,293	43,295,226	7,094,067
商品仕入	6,094,026	2,256,294	3,837,732
外注費	519,623	0	519,623
会計年度任用職員給与手当	1,500,000	2,000,000	△500,000
臨時職員賃金	143,372	74,529	68,843
会議費	286,355	230,007	56,348
交際費	52,539	35,750	16,789

科　　目	当 年 度	前 年 度	増　　減
旅費交通費	174,810	169,750	5,060
海外出張費	0	75,000	△75,000
通信運搬費	947,734	441,794	505,940
業務委託費	11,146,085	6,002,964	5,143,121
消耗品費	616,474	306,846	309,628
修繕費	13,200	0	13,200
燃料費	16,611	20,523	△3,912
光熱水費	886,169	673,276	212,893
賃借料	13,480,610	13,464,000	16,610
リース料	2,305,820	2,279,640	26,180
広告料	1,284,755	1,628,449	△343,694
出演料	0	25,500	△25,500
保険料	109,460	71,510	37,950
諸謝金	20,000	0	20,000
雑費	6,500	2,293	4,207
減価償却費	1,586,922	1,631,625	△44,703
租税公課	99,600	0	99,600
支払手数料	932,620	219,781	712,839
支払負担金	7,642,008	11,535,695	△3,893,687
支払助成金	415,000	60,000	355,000
研修費	8,000	0	8,000
諸会費	101,000	90,000	11,000
管理費	22,524,392	11,948,273	10,576,119
外注費	50,638	0	50,638
役員報酬	200,000	180,000	20,000
会計年度任用職員給与手当	4,265,714	3,444,824	820,890
法定福利費	210,670	221,115	△10,445
福利厚生費	3,959	5,000	△1,041
会議費	22,796	1,000	21,796
旅費交通費	324,520	439,050	△114,530
通信運搬費	42,768	46,573	△3,805
業務委託費	6,200,351	263,951	5,936,400
消耗品費	496,715	692,024	△195,309
修繕費	259,160	117,293	141,867
燃料費	72,275	47,548	24,727
広告料	50,600	0	50,600
保険料	253,440	252,870	570
雑費	7,600	5,346	2,254

科　　目	当 年 度	前 年 度	増　　減
減価償却費	654,289	654,289	0
租税公課	42,200	18,850	23,350
支払手数料	117,780	166,540	△48,760
支払報酬	629,000	0	629,000
支払負担金	8,572,042	5,382,000	3,190,042
研修費	36,500	10,000	26,500
諸会費	11,375	0	11,375
経常費用計	72,913,685	55,243,499	17,670,186
当期経常増減額	292,518	1,397,821	△1,105,303
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	292,518	1,397,821	△1,105,303
法人税、住民税及び事業税	325,800	480,800	△155,000
当期一般正味財産増減額	△33,282	917,021	△950,303
一般正味財産期首残高	16,333,905	15,416,884	917,021
一般正味財産期末残高	16,300,623	16,333,905	△33,282
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産期末残高	5,000,000	5,000,000	0
Ⅲ　正味財産期末残高	21,300,623	21,333,905	△33,282

財務諸表に対する注記

1.重要な会計方針

決算は、公益法人会計基準(平成 20 年 4 月 11 日　平成 21 年 10 月 16 日改正　令和 2 年 5 月 15 日改正　内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(1)棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品及び貯蔵品：最終仕入原価法

(2)固定資産の減価償却の方法

構築物：定額法

建物附属設備：定額法

ソフトウェア：定額法

車両運搬具：定額法

什器備品：定額法

(3)消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式による。

2.基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残額は次のとおりである。　（単位：円）

科目	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	5,000,000	0	0	5,000,000
合計	5,000,000	0	0	5,000,000

3.基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。　（単位：円）

科目	当期末残高	うち指定正味財産からの充当額	うち一般正味財産からの充当額	うち負債に対応する額
基本財産				
定期預金	5,000,000	5,000,000	0	0
合計	5,000,000	5,000,000	0	0

4.担保に供している資産

該当事項なし

5.保証債務等の偶発債務

該当事項なし

6.補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高　　（単位：円）

交付者	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
観光庁	0	5,000,000	5,000,000	0
羽曳野市	0	55,641,871	55,641,871	0

附属明細書

1.基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているため省略。

2.引当金の明細

該当事項なし

財　産　目　録

2025年3月31日現在

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金			
	2F	事務局	令和7年度賛助会員会費	10,000
	釣銭現金			
	1F	はびきのビジターセンター	釣銭として	30,000
	2F	法人事務所	釣銭として	50,000
			現金小計	90,000
	普通預金			
		りそな銀行羽曳野支店	運転資金及び事業資金	16,730,166
			現預金合計	16,820,166
	未収金			
	物産品等販売事業収入	はびきのビジターセンター売上等未収金	事業資金	890,304
	物産品等仲立事業収入	商品販売手数料未収金	事業資金	3,810
	その他収入事業収入	GMO決済未収金	事業資金	53,906
			未収金小計	948,020
	商品	物販商品	事業資金	480,368
	貯蔵品	切手等	事業資金	57,465
流動資産合計				18,306,019
(固定資産)				
基本財産	定期預金	りそな銀行羽曳野支店	設立時拠出財産	5,000,000
			基本財産合計	5,000,000
その他固定資産	構築物	法人事務所	看板	288,603
	車両	社用車		675,192
	什器備品	陳列棚		298,875
	建物附属設備	法人事務所	空調設備等	6,217,293
	ソフトウェア	法人事務所	法人HP、会計システム	1,210,797
			その他固定資産合計	8,690,760
固定資産合計				13,690,760
資産合計				31,996,779
(流動負債)				
	未払金			
	給与手当	3月分スタッフ職員	運転資金	449,973
	旅費交通費	3月分	運転資金	13,870
	観光施設等管理事業	事業費に対する未払金	事業資金	507,797
	物産品等販売事業	事業費に対する未払金	事業資金	1,189,585
	物産品等仲立事業	事業費に対する未払金	事業資金	3,775
	その他収入事業	事業費に対する未払金	事業資金	9,548
	まちづくり活性化関連事業	事業費に対する未払金	事業資金	91,210
	財団法人運営補助事業	管理費に対する未払金	運転資金	6,383,690
	観光情報発信事業	事業費に対する未払金	事業資金	264,448
	観光関連企画運営事業	事業費に対する未払金	事業資金	550,330
	羽曳野市補助金	精算返納金		358,129
			未払金小計	9,822,355
	前受金	賛助会員会費等前受金	運転資金	701,667
	預り金			
	源泉所得税等預り金	法定控除預り金	運転資金	35,480
	その他預り金	委託販売預り金	事業資金	136,654
			預り金小計	172,134
流動負債合計				10,696,156
負債合計				10,696,156
正味財産				21,300,623

2025年5月8日

一般財団法人　大阪はびきの観光局
理事長　大谷 常一　様

一般財団法人　大阪はびきの観光局
監事　谷口 哲也　㊞

監事監査報告書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(以下「法」という。)第197条において準用する法第99条の規定に基づき、2024年度(2024年4月1日から2025年3月31日まで)の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について下記のとおり報告いたします。

記

1．監査の方法及びその内容

当法人の理事(以下「理事者」という。)との意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事者から職務の執行状況等について報告を受け、疑義が生じた内容に関しては説明を求めました。

また、2024年度における計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び会計帳簿等を確認し、当法人の業務及び財産の状況を調査いたしました。

2．監査の結果

事業報告書に関しては、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく記載していました。

理事の職務の遂行については、不正な行為又は法令若しくは定款に違反する事実は認められませんでした。

決算報告書(計算書類関係)については、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に記載していました。

以上